

---

# 令和3年度 第2回

## 堺市農業振興ビジョン検討懇話会

令和3年（2021年）11月12日  
堺市 産業振興局 農政部

## 堺市農業振興ビジョン（第3期）

実施期間	平成29年度～令和8年度（2017年度～2026年度）
将来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域経済へ貢献する農業</li> <li>②市民のくらしを豊かにする農業</li> <li>③都市の環境を支える農業</li> </ul>
スローガン	堺の「おいしい・楽しい・美しい」をつくる都市農業
重点プロジェクト	目標年度：令和2年度（2020年度）



## 堺市農業振興ビジョン（第3期改定版）

### 堺市基本計画2025と連動

### 重点プロジェクトの更新（令和4～8年度）

『都市農業振興基本法』に基づく地方計画に位置付け

地域で生産された農産物を  
地域の事業者が利用し、地域の住民が消費する『地産地消』

**地域の理解と参加によって農地が維持され、多面的機能が発揮され、そしてまた農産物が生産される、という好循環を生む原動力**

**この好循環により、都市と農が共存し、  
市民全体で共感する豊かな都市農業の実現をめざす**

市街化区域では住宅地と農地が混在  
市街化調整区域でも住宅地が近接し  
農空間は同時に都市空間の一部



良好な農空間を維持し活用することで  
多面的機能を地域住民全体が享受

本市農業の3つ将来像に、共通かつ重要な手段として「地産地消の推進」を基本姿勢に位置付け、市民と農の繋がりによって、ビジョンを推進

※「重点プロジェクト（2）堺産農産物を食べよう！プロジェクト」の目標が未達成

## 基本姿勢 「地産地消の推進」

- ▶ 域内経済循環率を高め、持続的な都市農業の振興
- ▶ 市民が地産地消を実践できる環境を整え、日常的な食の選択肢を増やし、くらしを豊かに
- ▶ 市民が身近な都市農業の魅力を実感し、農空間の多様な価値に共感し、地域への愛着を高め、農業との繋がり・関わりを強化

調査対象：認定農業者、農地所有者（無作為抽出）等

回答者数：752名

## 設問：堺市の農業施策について今後重視すべきこと

- 37.9% 農業の担い手の確保・育成
- 23.9% 直売所等の農産物販売促進
- 20.7% ほ場やため池などの基盤整備

## 設問：営農を継続するために必要なこと

### ○全体

- 23.0% トラクターなどの農業用機械の整備
- 22.1% 農道やため池など基盤施設の整備
- 21.8% 後継者の確保

### ○販売目的の農業者

- 34.0% 出荷先の拡大
- 33.3% 農道やため池など基盤施設の整備
- 32.1% トラクターなどの農業用機械の整備

調査対象：1) webサイト「Umy堺.com」を訪問した方  
2) 堺市内のこども食堂を利用している児童の保護者等  
回答者数：441名 1) 326名 2) 115名

## 設問：堺産農産物の購入頻度

- 34.2% おおむね週1品以上購入している
- 20.6% 購入したことはあるが月1品はない
- 18.1% おおむね月1品以上購入している

## 設問：堺産農産物を購入する動機になること

- 73.3% もっと購入できる場所が増えれば
- 39.7% もっと「堺産」であることが分かりやすければ
- 36.3% もっとほかの農産物と比べて違いや良さがわかれば

## 戦略①：食と農を支える地域連携強化

市民が地産地消を実践できる場を増やし、市内で採れた食材を食べる、という行動に直接つながる環境整備を進め、生産者と消費者がつながる活動を支援

## 戦略②：持続可能な農業の振興

認定農業者の他、新規就農者や女性就農者など、就農スタイルにこだわらず多様な担い手の活躍を支援

## 戦略③：魅力的な都市農空間の形成

都市環境や防災など多面的な視点も踏まえ、ため池など農業生産基盤の整備など、多様な主体と連携した農空間の保全や、都市農地を活用した市民農園など、農業が活きたくらしの実現

基本姿勢「地産地消の推進」は  
各戦略を循環させる基軸

堺産農産物の地域内利用・販売を促進する施策に重点的に取り組み、市民が地産地消を実践できる環境整備を進める。

### 戦略①：食と農を支える地域連携強化

「堺のめぐみ」と「泉州さかい育ち」の生産・販売の増加推進

ハーベストの丘農産物直売所「またきて菜」の活性化

直売所等の設置支援と情報発信

観光・イベント等との連携

飲食店等での堺産農産物の利用促進

項目	現状値	目標値
	令和2(2020)年度	令和8(2026)年度
「堺産」と分かる表示をして出荷している生産者数	販売農家32.9% (214名)	販売農家の40% (260名)
農産物直売所・マルシェ ・出店イベントの数	33件	50件



新規就農者の様々な就農スタイルに応じた支援を進める他、新技術の導入や規模拡大の支援を合わせて行うことで、堺産農産物の生産者として、農空間の守り手として、担い手の確保・育成に重点的に取り組む。

### 戦略②：持続可能な農業の振興

新規就農に関する相談・支援

新規就農者・農家後継者の定着化

新技術の導入支援

農用地利用集積の促進

項目	現状値	目標値
	令和2(2020)年度	令和8(2026)年度
新規就農5年以内の平均経営面積	1,577㎡	2,000㎡
農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積面積	87ha	99ha

地域のふれあい空間として、防災機能を持つ施設として、農空間の効果的な維持・活用に重点的に取り組む。

戦略③：魅力的な都市農空間の形成

民間による市民農園等の開設・運営の促進

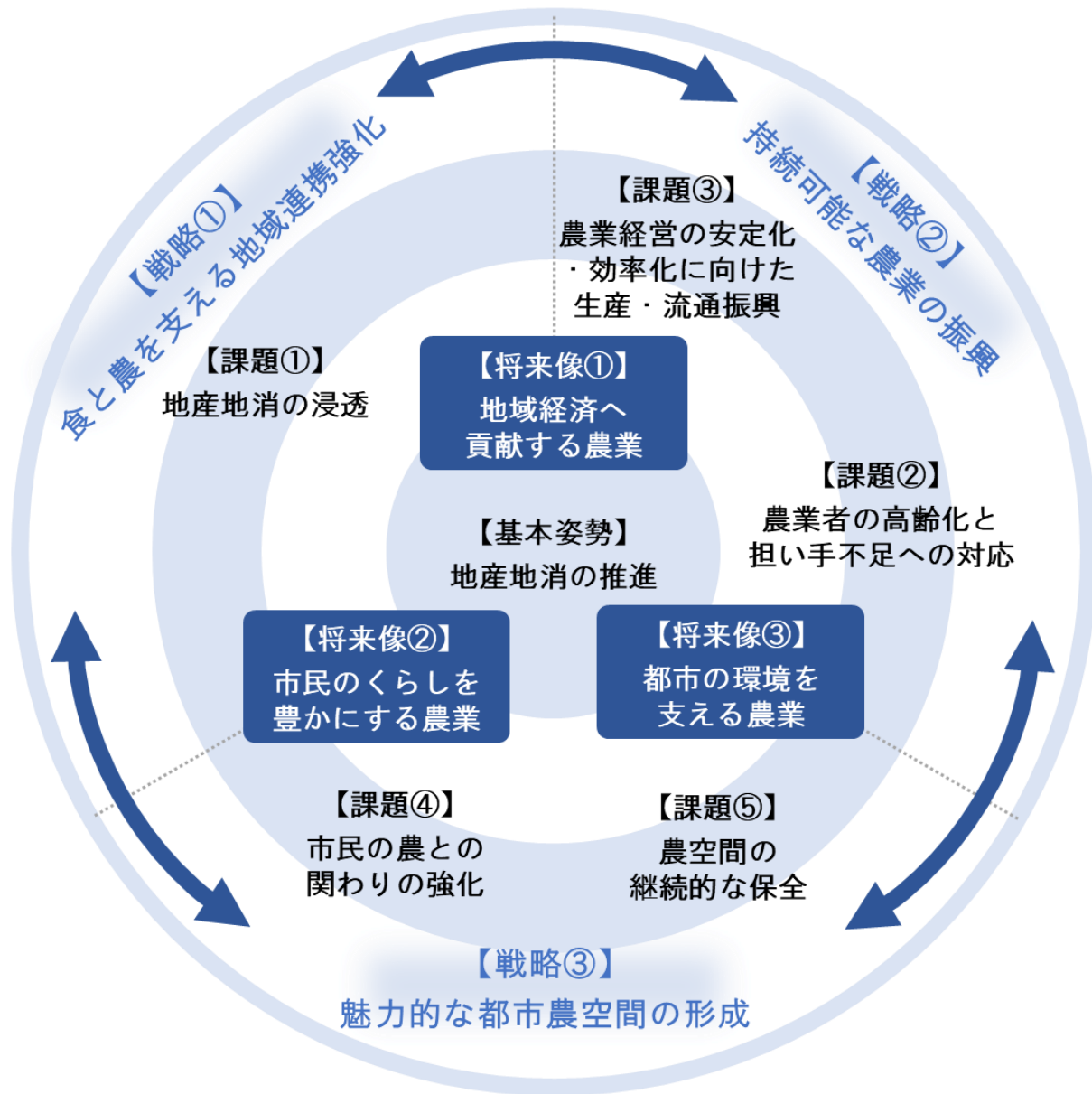
ため池の防災・減災の推進

農業用施設・基盤整備の支援

農空間の多面的機能維持・増進・発現の支援

項目	現状値	目標値
	令和2(2020)年度	令和8(2026)年度
市民農園開設数	3園/年 367区画/4年	3園/年 又は100区画/年
耐震化又は豪雨対策着工 ため池数	0	4ヶ所

# 将来像及び基本姿勢と戦略の構造





堺市  
基本計画  
2025

## 【重点戦略】

### 4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～

#### (7) 次世代につなげる農業の促進

- ①地産地消の推進
- ②持続可能な農業振興

## 【KPI（重要業績評価指標）】

指標	現状値 (2019年度)	目標値 (2025年度)
市内で採れた 食材を食べて いると答えた 人の割合  (概ね6か月以内)	42.8%	<b>55.0%</b>